LUB-SC V05

USB-SCSI CABLE

USB-SCSI変換ケーブル・ ユーザーズマニュアル

LUB-SC



目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	
ご注意	
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	3
用語について	4
Macintosh 編	5
Windows 編	41

付属品の確認	
USB-SCSI 変換ケーブル 1 台 「LogitecWare」CD-ROM 1 枚 USB-SCSI 変換ケーブル・ユーザーズマニュアル 本書 保証書 / ユーザー登録カード 1 枚	
上記はUSB-SCSI変換ケーブル単体販売の場合の付属品です。 SCSI機器に同梱されている場合の付属品は、SCSI機器のマニュア ル、または補足説明等をご参照ください。	

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
 ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障 害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性があ る項目です。

ケースは絶対に分解しないでください。内部には 感電の危険性がある部分もあります。分解の必要 が生じた場合は販売店にご相談ください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。ま た、水などの液体が入らないように注意してくだ さい。故障、感電、火災の原因となります。



分解禁止

水濡れ禁止

衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避け てください。



ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定/接続方法、機能/仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈 りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、 弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時 点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサ ポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予 告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境でデータがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理 由によって失われた場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要 なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではあり ません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や 機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮さ れていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損 害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいか なる責任も負いかねます。また、弊社では海外での(海外に対してを含む)サービス および技術サポートを行っておりません。

^{*}Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Apple、 Macintosh、Mac、PowerBook、iMac、iBook、MacOSは米国アップルコンピュータ社の登録商標 です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

用語について

本書では以下のような用語を使用します。

HDユニット

外付け SCSI ハードディスクドライブを指します。

MOメディア

3.5型光磁気ディスク(Magneto-Optical Disk)そのものを指します。

MOユニット

3.5型光磁気ディスクを使用するための外付けドライブを指します。

MO/HD ユニット

外付け3.5型光磁気ディスクドライブと、外付けSCSIハードディス クドライブを総称した呼び方です。

SCSI 機器

本書で「SCSI機器」という言葉を使用した場合、特に指定がない限 り MO/HD ユニットと CD-R/RW ユニットを指します。

USB コネクタ

USB (Universal Serial Bus) インターフェースに機器を接続するためのコネクタです。USB コネクタには 2 種類の形状があります。 パソコンに近い方のコネクタを「シリーズA コネクタ」と呼び、断面が平たい形状をしています。

パソコンに遠い方(機器側の)コネクタを「シリーズBコネクタ」と 呼び、断面が正方形に近い形状をしています。

Macintosh 編

第1章	製品のご紹介	7
1	. 1 製品概要	7
1	.2 使用環境	8
1	. 3 ドライバと動作モードについて	10
第2章	USBネイティブモードで使用する場合	12
2	. 1 ドライバのインストール手順	12
2	. 2 接続について	16
2	. 3 専用フォーマッタについて	19
	2.3.1 MO メディアのフォーマット手順	19
	2.3.2 HD ユニットのフォーマット手順	23
2	. 4 取り外しなどに関して	26
第3章	SCSIエミュレーションモードで使用する場合	28
3	. 1 ドライバのインストール手順	28
3	. 2 接続について	32
3	- 3 接続後の作業	35
第4章	トラブルシューティング	36
ハードウ	ウェア仕様	39

Logitec

第1章 製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品は、アップルコンピュータ社Macintoshシリーズ(USBコネクタ を搭載した機種)に接続できる USB-SCSI 変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB 対応の Macintosh 本体に SCSI 機器を接続することができます。

ドライバとして、USB ディスクドライバとエミュレーションドライバの2種類が添付されています。

USB ディスクドライバは、USB に最適化されたドライバです。ただし これを使用した場合、本製品に接続できる機器は、MO/HD ユニットを 1 台だけに制限されます。

エミュレーションドライバは、本製品をSCSIインターフェースとして システムに認識させるドライバです。これを使用すると、複数のSCSI 機器(MO/HDユニット、CD-R/RWユニット)をデイジーチェーン接 続することができます。

各ドライバの詳細については、「1.3 ドライバと動作モードについて」をご参照ください。

USB-SCSI 変換ケーブルに内蔵された変換回路は、USB コネクタからのバスパワーで動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、すっきりと接続することができます。

1

1

ご注意

- ・本製品を接続するUSBコネクタは+5V500mAの電源を供給できるものでなければなりません。バスパワーで動作するUSBハブや、Macintoshシリーズのキーボードに実装されたUSBコネクタには、電流量が足りないため接続できません。
- ・本製品に接続したMOユニットでは、スーパーフロッピー形式でフォーマットされた 640MB、1.3GB MOメディアを扱うことはできません。
 (これは「PC Exchange」、「File Exchange」の制限ですので、 Macintosh 形式であれば問題ありません。)

1.2 使用環境

パソコン環境

本製品は以下のようなパソコン環境でご使用ください。

パソコン本体

アップルコンピュータ社 iMac

Power Mac G4 Power Macintosh G3 (Blue & White) iBook PowerBook G4 PowerBook (FireWire) PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

メインメモリ	32MB以上
ハードディスク	1MB 以上の空きがあること
OS	Mac OS 8.1 ~ 9.2.2 まで(*1)

*1 OSは日本語OSに限ります。また、iMacシリーズでMac OS 8.1 を使用する場合は、「iMac アップデート1.0」でアップデートする 必要があります。 アップデートが必要かどうか確認したい場合は、「アップルメ ニュー」「Appleシステム・プロフィール」で「装置とボリュー ム」タグを選び、USBのバージョンを確認してください。これが 「1.0.1」以降でない場合は、iMac アップデート1.0でアップデー トする必要があります。

SCSI 機器

弊社から発売されている SCSI 機器のうち、D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタを持つ HD ユニット、MO ユニット、CD-R/RW ユニット については本製品との接続が確認されています。

ご注意

- ・上記以外のSCSI機器についても、順次接続確認が行われています。最 新情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべての SCSI機器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器 が存在する可能性があることはご承知おきください。)
- ・CD-R/RWユニットを接続するためには、エミュレーションドライバを 使用しなければなりません。USBディスクドライバは使用できません。
- ・CD-R/RWユニットでCD-R/RWメディアに書き込みを行う場合、USBの転送速度がSCSIよりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・本製品をUSBハブ経由で接続しないでください。Macintosh本 体のUSBコネクタに直接接続してください。
 - ・書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機 器を接続しないでください。また、不要なUSB機器はなるべく 接続を外しておいてください。
 - ・書き込み速度は2倍速以下に制限されます。ライティングソフトウェアで2倍速を超える速度が表示される場合でも、2倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・書き込み速度が2倍速以下であっても、オンザフライ書き込み やオンザフライでのCDのバックアップはできない場合があり ます。
 - ・ISO9660のCD-R/RW 書き込み時などに使用されるイメージ ファイル保管用のハードディスクは、USB-SCSI変換ケーブル に接続しないでください。

1.3 ドライバと動作モードについて

本製品には以下の2種類のドライバが添付されています。どちらのドラ イバを使用するかによって、本製品の動作モードが2種類に分かれ、 SCSI機器に対する制限や接続形態などが変わります。

USB ディスクドライバ

このドライバをインストールすると、本製品は USB に最適化され た「USBネイティブモード」で動作します。このモードでは、本製品 は SCSI インターフェースとしてシステムに認識されません。そのた め本製品に接続された MO/HD ユニットは、システム側から見るとあ たかも USB 仕様の補助記憶装置に見えます。

このモードのメリットは USB に最適化されているため、ホットプ ラグが可能である点です。また、MO/HD ユニットのフォーマットに は、本製品付属の専用フォーマッタを使用することができますので、 別売のソフトウェアは必要ありません。

ただし、このモードには以下のような制限があります。

- ・接続できる機器はMO/HDユニットのみです。CD-R/RWユニットを 接続することはできません。
- ・ 接続台数は1台のみです。通常のSCSIインターフェースのように デイジーチェーンで複数のSCSI機器を接続することはできません。



エミュレーションドライバ

このドライバをインストールすると、本製品は「SCSI エミュレー ションモード」で動作します。このモードでは、本製品が SCSI イン ターフェースとしてシステムに認識されます。

このモードのメリットは7台までのSCSI機器(CD-R/RWユニット を含む)を、本製品にデイジーチェーン接続できることです。(ただ しケーブル長の制限があるため、常に7台接続可能なわけではありま せん。)

逆にこのモードのデメリットは、本製品が完全に SCSI インター フェースとして認識されるため、ホットプラグができない点です。



本製品にMO/HD ユニットを1台だけ接続する場合は、「USB ディスク ドライバ」をご使用ください。この場合のドライバのインストール手順や 接続方法については、第2章をご参照ください。

本製品に CD-R/RW ユニットを接続したい場合や、複数の SCSI 機器を デイジーチェーン接続したい場合は「エミュレーションドライバ」をご使 用ください。この場合のドライバのインストール手順や接続方法について は第3章をご参照ください。

ご注意

2つのドライバはどちらか片方しか使用することができません。仮に両方のドライバをインストールしようとすると、最初にインストールされたドライバが自動的に削除されてから、2番目のドライバがインストールされます。



USB ネイティブ

モードで使用する場合

2.1 ドライバのインストール手順



本製品を USB ネイティブモードで使用する場合は、<u>本製品を接続する</u> <u>前に</u>以下の手順で付属の USB ディスクドライバをインストールしなけれ ばなりません。

Macintosh のシステムを起動して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリック して開いてください。



以下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。



第2章 USBネイティブモードで使用する場合

ここで、左のメニューから「ドライバについて」という項目をクリックしてください。

右に収録されたドライバの一覧が表示されたら、これをスクロールして 「LUB-SC」を探し、「ディスクドライバインストーラ」と書かれた部分 をクリックしてください。

1.この部分をクリック

	●USB MOユニット	
◎LHA-BOUSSISE/M ◎LHD-SCSI3E/M ◎LHD-PFUシリーズ ◎LHD-AUシリーズ	LMO-AUシリーズ USBディスクドライバ	(1097774) <u>717271777777</u>
© LMU-AU≫ 9 - ス © LMD-A630U	●LMO-A630Uユニット	
● COD-3C ●使用許諾と制限事項について ●お問い合わせについて	LMO-A630U USBディスクドライパ	(説明ファイル) <u>いつ-A630Uインストー</u> 2
	●USB-SCSI変換ケーブル	
	LUB-SC USBディスクドライパ エミュレーションドライバ	(調727イル) デオスクドライバイ ユストーラ レストーラ

2.この部分をクリック

インストーラが起動して、注意事項が表示されます。内容を確認して、 「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

Logitec USB-SCSI変換ケーブル ドライバ	E
「USBディスクドライバ」インストーラ	
本インストーラは、USB-SCSI変換ケーブルを「USBネイティブモード」で動作させる ためのドライバのインストールを行います。USBネイティブモードはUSBに最適化され ているため、より安定した動作が可能です。また、ドライバとともに専用のフォーマッ タがインストールされます。MO/HDユニットを1台だけ接続する場合に使用します。	
ご注意:「USBディスクドライバ」と「エミュレーションドライバ」を同時にインス トールして使用することはできません。既にエミュレーションドライバがインストール されている環境では、インストールを実行すると、エミュレーションドライバが自動的 に削除されてから、USBディスクドライバがインストールされます。	
【保存】「印刷】 「年ャンセル」 【続ける」	

著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して、同意する場合は 「同意します」と書かれたボタンをクリックしてください。(ここで「同 意しません」と書かれたボタンをクリックすると、インストールが中止 されます。)

第用結晶と朝鮮事項について (1))未常構成、「USB-SSI装飾ーブル」ドライバリディスク(信得まれたソフトウェア(以下、本ソフトウェアを結2)をその他の著作物と同様に扱っていただく必要があります。 (2)ロジテック構成会社は、本ッフトウェアをロジテック構成会社から達供されるハードウェアにおいて使用ぐさる使用後を、おきないに許認します。 (3)ロジテック構成会社は、本ッフトウェアを取りイルの内容については、製品改良などのために予告な(文質する場合があります。 (4)お客観に、ホッフトウェアを取りパースエンジニアリング、従コンパイルもしくは従アセンブルをしてはなかないものとします。 (5)ロジテック構成会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ッフトウェアに聞いて発生する問題に、お客様の支任および発用自然によって処理されるものといます。 (5)ロジテック構成会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証もあらのといます。 (5)ロジテック構成会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証もあらのといます。 (5)ロジテック構成会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証もあらのといます。 (5)ロジテック構成会社は、ホッフトウェアを使用したというの(保証をとないらのとします。) (7)いかなよ場合がた、エルロジェック構成会社がホッフトウェアを使用することがに(図) (日間)する (第)回答しません (第)目的(当ちょう)を使用することがに(図) (第)の(この)を使用したの(本)の(正との(ないのとして)) (第)の(この)を使用した(本)の(正との(本)の(正との(ないのと)) (5)の(この)を使用することが(図)の(この)を使用することが(回答します。) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないのと)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないのと)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(証をしないの) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(証をしな(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(ないの)) (5)の(この)を使用した(本)の(正との(本)の(正との(本)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正)の(正		_
(1)わ客様は、「USB-SC3 皮酸カケーブルドライバ」ディスクに得容されたソフトウェア(以下、本ソフ トウェアと幅2)をその他の各体物に同様に見る。ていただく必要があります。 (2)ロラック検索会社は、ホッフトウェアをロジラック構成会社から増供されるハードウェアにおいて 使用できる使用後を、お客様に注意します。 (3)ホッフトウェアの仕様、デザインおよび本規関ウマイルの内容については、観点改良などのために子 合なく変更する場合があります。 (4)お客様は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ソ フトウェアに関いて発生する問題な、お客様の支任わよび発用負担によって処理されるものとします。 (5)ロジラック検索会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ソ フトウェアに関いて発生する問題な、お客様の支任わよび発用負担によって処理されるものとします。 (5)ロジラック検索会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証をおもものとします。 (5)ロジラック検索会社は、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証をおもものとします。 (5)ロジラック検索会社な、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証をあるものとします。 (5)ロジラック検索会社な、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証をあるものとした。 す。 (5)ロジラック検索会社な、ホッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証をあるものといるり と、「2)いかなる場合であって本していためのと 「2)いかなる場合であって本しいなのと、 「2)いかなる場合で本しいたちょうな機能会社な、本見様式本コントウェアを使用する。 「回復します」	使用許諾と制限事項について	
トウェアと略認)をその他の着作物に同様に思。ていただく必要があります。 (2)ロデラック株式会社は、本ツフトウッアをログラック株式会社から地営化されるハードウェアにおいて 使用できる使用後を、お客様に評認します。 (3)本ツフトウェアの仕様、デザインおよび本規関ウマイルの内容については、製品改良などのために子 歯なく変更する場合があります。 (4)お客様は、本ツフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ツ フトウェアに関いて発生する問題な、お客様の支任および発用負担によって処理されるものとしま す。。 (5)ロデラック株式会社は、本ツフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ツ フトウェアに関いて発生する問題な、お客様の支任および発用負担によって処理されるものとしま す。。 (5)ロデラック株式会社は、本ツフトウェアを使用した結果に関していかの容に関して、商業的に有用 であること、地域の自動に適合すること等に関し、明示的にも一切の保証をしないのと します。 (2)いかな乏能会でよって本のが完全の情報が低い、中の (第二)	(1)お客様は、「USB-SCSI変換ケーブル ドライバュディスクに保存されたソフトウェア(以下、本ソフ	
 (毎月できる毎期後を、出支援に詳認します。) (3) ションカーションのは紙、デザンカムが本説明ファイルの作首については、製品改良などのために子 (3) ションカーションのは紙、デザンカムが本説明ファイルの作首については、製品改良などのために子 (4) わ客植は、本ツコトウュアシムジェアリング、違コンパイルもしくは送アセンブルをして はなみないものとします。) (5) ロジテック株式会社は、本ツコトウュアを専用した結果に聞いていたなる意味も行ないません、エツ フトウュアに聞して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。 す。 (5) ロジテック株式会社は、ホツコトウュアを使用した結果に聞いていたまき構成してき、商業的で有用 するること、地球の自動いに高合すること等に聞い、明子的にも紙子的にも一切の経路をしないのと します。) (2) いムがスは高く本のよりで、一切の行きに関いてい、商業的で有用 であった。) (1) 「小切り」の「小切り」の「小切り」の「小切り」の「小切り」の「「「「「」」」の「」」 (1) 「小切り」の「「」」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」	トウェアと略記)をその他の著作物と同様に扱っていただく必要があります。 (2)ロジテョク様式会社は「ホリフトウェアをロジテョク様式会社から提供よりるハードウェアにおいて	
 (3)まつトウェアの仕様、デザインおよび本説明ファイルの内容については、製品改良などのために子 会なく変更する会かあります。 (4)ある様似、本ツフトウェアをリバースエンジニアリング、違コンバイルもしくは違アセンブルもして はならないものとします。 (5)ロジテック株式会社は、ホツフトウェアを慣用した機能()間へていかなる原証も行ないません、ホツ フトウェアに関レく完全する内部は、お客様の支任および免用負担によって処望されるものとします。 (6)ロジテック株式会社は、ホツフトウェアおよびその間違説切ファイルの内容に関して、商業的に有用 であること、純定の自的に適当することやに関い、明示的にも形示的にも一切の保証をしないものと します。 (7)に加える協会すね。マホロゼテック機能会社に、水変体がホッコトウェアを使用することとF10歳で、 (7)に加える協会すね、マホロゼテック機能会社に、水変体がホッコトウェアを使用することとF10歳で、「▼ (4)に第二 (1)回答しません (1)回答しません 	使用できる使用権を、お客様に許諾します。	
留体、気大する物質があります。 (4)お客様は、ボッフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。素ツ フトウェアに間で表生ますの問題に、お客様の支任まな受用した結果に関していかなる保証も行ないません。素ツ フトウェアに間で表生ますの問題に、お客様の支任まよび発用負担によって処理されるものとしま す。 (6)ロジテック株式会社は、本ツフトウェアおよびその間過観明ファイルの内容に関して、酵素的に有用 てあること、純定の自的に適当すること等に関し、明元的にも形式的にも一切の保証をしないものと します。 (7)いかな主体の之外によった用いだ=っク様式会社が、本文様が本ツフトウェアを使用することにいまい) Japanese	(3)本ソフトウェアの仕様、デザインおよび本説明ファイルの内容については、製品改良などのために予 サウィが用する用へどものます。	
はならないものとします。 (ならないものとします。 (5)ロデラック株式社は、本ツフトウェアを使用した結果に関していかなるほ証も行ないません、本ツ フトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任および専用負担によって処理されるものとしま す。 (6)ロジテック株式会社は、本ツフトウェアおよびその防退説明フィルの内容に関して、商業的に有用 であること、地球の自的に適合すること等に開し、明示的にも形示的にも一切のほ話をしないものと します。 (2)いたがス基値を大加っておっつ発達会社は、お実績が広火コトウェアを使用すスニンドトロ生だ) Japanese (保存) 日期する 同意しません 同意しまて、	告なく変更する物合かみります。 (4)お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをして	
(3)日シアラク体32月12、ホップアションを採用したホーに用いていかいないはないない。ホック フトクラブに関いて発生する間面は、お客格の支付よどな母用負担によって処理されるものとしま す。 (6)ロジテック株式会社は、本ソフトウェアおよびその開連銀門ファイルの内容に関して、商業的に有用 であること、財支の目的に通合すること等に関し、明示的にも新示的にも一切の保証をしないものと します。 (2)いかなよ場合プあ。イエルロジテュク構成会社は、お実績がホソフトウェアを使用することにより生いませ、 「自家のまま」 「保存…」「印刷する」「同家しません」 「同家しません」	はならないものとします。 (5)ログニーク様子会社は、オリコトロ、アも佐田(ち社田(に用)よいわれて保護を行わいません。オリ	
す。 (2)ロジテック株式会社は、本ソフトウェアおよびその間違説明ファイルの内容に関して、前葉的に名用 べあること、特定の目的に過会すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものと くます。 (2)いかかる過会ずあ。マキロジテック機式会社は、本実種がホソフトウェアを使用することにといまれ、 「Japanese ▼ (保存 印刷する 同意しません 同意します。	「COTロシデッジ体系設在は、キリンドリェアを使用した細末に向していかなる時間も11ないません。キン フトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任および要用負担によって処理されるものとしま	
[07日シアラク体系対応、ホクノドウェア系がセイジのMagend / イルジルサロに開いてい、前来31、日田 てあること、特定の自動に通らすること等く開い、明示的にも気が高いと一切の保証とないためと します。 [7]ハムカメ基ムイム、マルトロジェーク様式会社け、も実体がホリフトウェアを使用するニンドド(1生)! Japanese ▼ [保存] [11刷する] 同葉しません] [同葉しません]	す。 (く)ラジュークサナク社は、オンラーウ、フントパスを取り起来用ラーノルの中国には、本業的に支用	
します。 (7)いいかえ場合す為。すまロジテーク構成会社が、転業構成ホリフトウェアを確用することによいまい) Japanese マ 「保存 印刷する」 同意しません 「同意します。」	へのリコンテック体式会社は、本リフトウェアおよひそのRDBBBA9ファイルのPG合に用して、HBRF9に有HH であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものと	4
(U/D) MULA ###278、78.70/7 #7.78878010 Note (A Version And Construction) Japanese ▼ (保存		€
(保存) (印刷する) (同意しません) (同意します)	U/I/INがな場合であってまロシテラク様式空行しておきたmin // パトワッドを提出した。アドエハキレビ しananese	_
「保存…」「印刷する」「同意しません」「同意します」		_
	(保存…) 「印刷する」 (同意しません 」 (同意します	J

付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウ が表示されます。初期設定では「USB Disk Formatter」というフォルダ にインストールされます。特に支障がない場合は、そのまま「インス トール」と書かれたボタンをクリックしてください。



インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「はい」ボタンをクリックしてください。



第2章 USBネイティブモードで使用する場合

必要なファイルがハードディスクに転送されます。

ご注意

「エミュレーションドライバ」 「USBディスクドライバ」のように、ド ライバの入れ替えを行っている場合、ファイルの転送中に以下のような ウィンドウが表示されます。これは使用中のドライバを書きかえるための 警告メッセージですので、そのまま OK ボタンをクリックしてください。



作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」 と書かれたボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。次に2.2節にしたがって本製品の接続を行ってください。

● ● ● 参考

USB ネイティブモードではホットプラグに対応していますので、接続時 にパソコン本体の電源をOFF にする必要はありません。2.2節の手順 も、上記の手順に続いてパソコン本体の電源がONの状態で接続すること を前提としてます。 本製品をUSBネイティブモードで使用する場合、以下の手順でMO/HD ユニット、USB-SCSI変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。 接続の順番を間違えると、MO/HDユニットが認識されない場合がありま すのでご注意ください。

まず最初に MO/HD ユニットの準備をします。MO/HD ユニットは1台のみ接続可能です。

- ID ナンバーは「1」~「6」の範囲で任意の番号に設定してください。
- MO/HD ユニットにターミネータが内蔵されている場合は、これを「有効」に設定してください。(設定方法については MO/HD ユニットのマニュアルをご参照ください。)MO/HDユニットにターミネータが内蔵されていない場合は、外付けのターミネータを接続してください。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSI コネクタ(大きい方)をMO/HD ユニットのSCSIコネクタに接 続します。軽く引いて抜けない ことを確認してください。



Ω)

参考

イラストはターミネータ内蔵のMO/HDユニットの場合です。ターミネー タを内蔵していないMO/HDユニットの場合は、外付けターミネータを接 続してください。

第2章 USBネイティブモードで使用する場合

ここで、MO/HDユニットの電源をONにします。MO/HDユニットの電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に 点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、Macintosh 本体の USB コ ネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続でき ません。

iMac シリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まないように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。



以上ですべての接続は終了しました。

- ・MO ユニットを接続した場合、Macintosh のシステムが起動していれば、この状態で接続した MO ユニットを使用することができます。フォーマットされた MO メディアを MO ユニットにセットすると、デスクトップ上にMOメディアのアイコンが表示されます。MOメディアのフォーマット手順は2.3.1節で説明します。
- ・HD ユニットを接続した場合、HD ユニットを使用するにはフォー マットを行わなければなりません。フォーマット手順は2.3.2 節で説明します。



ターミネータを内蔵していないMO/HD ユニットの場合は、ここに外付けター ミネータを接続します。

2.3 専用フォーマッタについて

本製品を USB ネイティブモードで使用している場合、本製品に接続された MO/HD ユニットのフォーマットは、付属の専用フォーマッタで行います。ここでは専用フォーマッタを使用して、MOメディア、HD ユニットのフォーマットを行う手順を説明します。

2.3.1 MOメディアのフォーマット手順

MOユニットを接続した状態で、ドライバのインストール時に作成され た「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitec USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが開きます。ここでMOユ ニットに、フォーマットしたいMOメディアをセットしてください。

	Logitec USB Disk Formatter
r	_ ディスク: [FUJITSU M2513E [♠]
	ディスク容量: -
	フォーマット: -
	名前: -
	ドライブにディスクを挿入すると、上記の情報が更新されます。
	マウント 取り出し ディスクの初期化

セットしたMOメディアに関する情報が表示されます。ここで「フォー マット」が「不明」になっているのは、未フォーマットのMOメディア であることを示します。もし、この欄が「不明」以外のフォーマット形 式になっている場合は、そのメディアはフォーマット済みです。再 フォーマットしても良いことを確認してください。

問題なければ「ディスクの初期化」と書かれたボタンをクリックしてく ださい。



参考 \square

「マウント」と書かれたボタンは、何かの理由でマウントされなかった MOメディアのアイコンを強制的にマウントするためのものですが、 フォーマットの際には使用しません。

「取り出し」と書かれたボタンは、MO メディアをイジェクトするための ボタンです。 以下のウィンドウが開きます。ここで必要に応じて「名前」を入力して ください。また、「フォーマット」ではフォーマット形式を「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」から選択することができます。

「Mac OS 標準」は、従来の Macintosh 用フォーマット形式です。

「Mac OS拡張」は、Mac OS 8.1以降でサポートされている Mac OS拡張フォーマットです。

設定が終了したら、「初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。

このディスクを初期化しますか?
名前:
フォーマット: Mac OS 標準
(キャンセル) (河期化)

Point ポイント

「Mac OS 拡張」でフォーマットを行うと、その MO メディアは Mac OS 8.0以前を使用しているシステムでアクセスできなくなります。データ交 換などを目的とする場合は、「Mac OS 標準」でフォーマットを行ってく ださい。

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしても良いことを確認 したら、OKボタンをクリックしてください。

ディスクを初期化すると、既存の記録内容はすべて失わ 1 れます。 OK 🖍 [キャンセル] [

フォーマットが行われます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了 し、以下のウィンドウに戻ります。「フォーマット」が指定したフォー マット形式になっていることを確認してください。

必要に応じて、「取り出し」と書かれたボタンをクリックして MO メ ディアを取り出し、「ファイル」メニューの「終了」を選択して、フォー マッタを終了してください。



以上で MO メディアのフォーマットは終了です。

参考

ー度、本フォーマッタでフォーマットを行った MO メディアを再フォー マットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用する ことも可能です。

2.3.2 HD ユニットのフォーマット手順

USB-SCSI変換ケーブルでHDユニットをMacintosh本体に接続してく ださい。(フォーマットされていないハードディスクを接続した場合は、 接続が完了しても認識されません。)

ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォ ルダを開き、「Logitec USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリック してください。

2 項目、3.3 GB 空参		USB Disk Formatter	ue ele
Logitec USB Disk Formatter はびめにお読みください		2 項目、3.3 GB 空き	
	Logitec USB Disk Formatter	(#.C	▲ びめにお読みください

フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが開きます。ここで「フォーマット」が「不明」になっているのは、未フォーマットのHD ユニットが接続されているためです。もし、この欄が「不明」以外の フォーマット形式になっている場合は、そのHDユニットはフォーマッ ト済みです。再フォーマットしても良いことを確認してください。 問題なければ「ディスクの初期化」と書かれたボタンをクリックしてく ださい。

	Logitec USB Disk Formatter
F727:	CONNER CFA540S
ディスク	容量: 515.97 MB
74-4	ット: イッカ 名前: -
このディスク てください。	を初期化するためには、"ディスクの初期化…"ボタンを押し
र र र र	ヽ (アンマウント) [ディスクの初期化♪

● 参考

「マウント」、「アンマウント」と書かれたボタンは、HD ユニットのアイ コンを強制的にマウント、アンマウントするためのものですが、フォー マットの際には使用しません。

以下のウィンドウが開きます。ここで必要に応じて「名前」を入力して ください。また、「フォーマット」ではフォーマット形式を「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」から選択することができます。

「Mac OS標準」は、従来の Macintosh 用フォーマット形式です。

「Mac OS 拡張」は、Mac OS 8.1以降でサポートされている Mac OS 拡張フォーマットです。

設定が終了したら、「初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。





ご注意

「Mac OS標準」、「Mac OS拡張」のどちらを選択した場合でも、USBネ イティブモードで使用するハードディスクを複数のパーティションに分割 することはできません。 確認のメッセージが表示されます。フォーマットしても良いことを確認 したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが行われます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了 し、以下のウィンドウに戻ります。「フォーマット」が指定したフォー マット形式になっていることを確認してください。

必要に応じて、「ファイル」メニューの「終了」を選択して、フォーマッ タを終了してください。



以上でHD ユニットのフォーマットは終了です。

システムを終了していない状態で USB-SCSI変換ケーブルを取り外すには

USBネイティブモードではホットプラグがサポートされていますので、 システムを終了していない状態(Macintosh本体の電源がONの状態)で USB-SCSI変換ケーブルを取り外すことも可能です。ただし、これを行う 場合は以下の手順を踏んでください。

デスクトップ上にMO/HDのアイコンがマウントされている場合は これをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの 方法で行います。

- ・MO/HD のアイコンをごみ箱のアイコンに重ねる。
- ・MO/HDのアイコンを1回クリックして選択状態にし、「特別」メ ニューの「取り出し」を選択する。
- ・MO/HDのアイコンを1回クリックして選択状態にし、「アップ ルキー+E」を入力する。

MOユニットの場合、いずれの方法でアンマウントしても、MOメ ディアがイジェクトされますので、取り出しておいてください。

デスクトップ上に MO/HD のアイコンがなくなったら、USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを外してください。

MO/HD ユニットの電源を OFF にしてください。



HD/MO ユニットのアクセス中には、絶対に USB ケーブルを外さないで ください。

USB-SCSI 変換ケーブルを

接続した状態でシステムを終了するには

USB-SCSI 変換ケーブルを Macintosh 本体に接続した状態でシステムを 終了する場合は、特にUSB-SCSI 変換ケーブルを意識する必要はありませ ん。Mac OS標準の手順でシステムを終了し、Macintosh本体の電源がOFF になったら、MO/HD ユニットの電源も OFF にしてください。

すべての機器の電源がOFFになったら、必要に応じてUSB-SCSI 変換 ケーブルを取り外してください。



Point

SCSI エミュレーション

モードで使用する場合

3.1 ドライバのインストール手順

本製品を SCSI エミュレーションモードで使用する場合は、<u>本製品を接</u> 続する前に以下の手順で付属のエミュレーションドライバをインストール しなければなりません。

Macintosh のシステムを起動して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリック して開いてください。



以下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。



第3章 SCSIエミュレーションモードで使用する場合

ここで、左のメニューから「ドライバについて」という項目をクリックしてください。

右に収録されたドライバの一覧が表示されたら、これをスクロールして 「LUB-SC」を探し、「エミュレーションインストーラ」と書かれた部分 をクリックしてください。

1.この部分をクリック

	●USB MOユニット	
© LPM-SCSI3E/M	LMO-AUシリーズ	
◎ LHD-PFUシリーズ ◎ LHD-AUシリーズ	USBティスクトライハ	□□−F 107 <u>(説明ファイル) ディスクドライバインス</u> トーラ
◎ LMD-AUシリーズ ● LMD-A630U		
© LUB-SC	●LMO-A630Uユニット	
- ●使用注話と制限事項について ●お問い合わせについて	LMO-A630U USBディスクドライバ	(観明ファイル)、LM0-A630Uインストー 2
	●USB-SCSI変換ケーブル	
	LUB-SC USBディスクドライバ エミュレーションドライバ	
		/

2.この部分をクリック

インストーラが起動して、注意事項が表示されます。内容を確認して、 「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

Logitec 1	USB-SCSI変換ケーブル ドライバ		E
		1	٦I.
1			
ーエミュレ	ノーショントライハ] インストーラ		
本インスト	トーラは、USB-SCSI変換ケーブルを「SCSIエミョ	ュレーションモード」で動 📗	
作させるた	ためのドライバのインストールを行います。SCSL	ロミュレーションチードで	
	こののトライバのイラスト がといいあり。5554		
は、取八八	(音までの5651機器をデーン=チェーン接腕すると	こかできます。110/110エ	
ニットをネ	複数台接続する場合、またはCD-R,CD-R/RWユニ・	ットを接続する場合に便用	
します。			
し注意:	「エミュレーショントライハ」と「USBディスクト	ㅋㅋ^」 헨리時にキンス	
トールし1	て使用することはできません。既にUSBディスクド	'ライバがインストールされ	
ている環境	曵では、インストールを実行すると、USBディスク	ドライバが自動的に削除さ	
れてから	エミュレーションドライバがインストールされま	र ्	
			•
<u></u>		() (f	5
∥ 保存	」[[印刷]	キャンセル」 続ける。	
			÷.

著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して、同意する場合は 「同意します」と書かれたボタンをクリックしてください。(ここで「同 意しません」と書かれたボタンをクリックすると、インストールが中止 されます。)

使用許諾と制限事項について	E
(1)お客様は、「USB-SCSI変換ケーブルドライバ」ディスクに保存されたソフトウェア(以下、本ソフ	
トウェアと略記)をその他の著作物と同様に扱っていただく必要があります。 (2)ロジテック株式会社は、本ソフトウェアをロジテック株式会社から提供されるハードウェアにおいて	
使用できる使用権を、お客様に評諾します。 (1) オンコトウーアの分様、デザイントレビオが明コーノルの内容についたは、制品改良などのもかに子	
(3)本リプトリェアの11歳、デザインおよび本説明プアイルの内容については、製品の良などのために予 告なく変更する場合があります。	
(4)お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをして (たたたい+のとくます)	
(5)ロジテック株式会社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ソ	
フトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。	
(6)ロジテック株式会社は、本ソフトウェアおよびその関連説明ファイルの内容に関して、商業的に有用	
であること、特定の目的に通合すること等に関し、明示的にも熱示的にも一切の保証をしないものと します。	
(7)いかなる場合であってもロジテック株式会社は、お客様がホソフトウェアを使用することにより生ご	▼
Japanese 🔻	
[【「保存…」 】 〔 ─ 印刷する 〕 〔 「同意しません 〕 〔 「同意します 。	3
	₽.

インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「はい」ボタンをクリックしてください。



第3章 SCSIエミュレーションモードで使用する場合

必要なファイルがハードディスクに転送されます。



「USBディスクドライバ」 「エミュレーションドライバ」のように、ド ライバの入れ替えを行っている場合、ファイルの転送中に以下のような ウィンドウが表示されます。これは使用中のドライバを書きかえるための 警告メッセージですので、そのまま OK ボタンをクリックしてください。



作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」 と書かれたボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。ここで、一度シス テムを終了してから、2.2節にしたがって本製品の接続を行ってください。



SCSIエミュレーションモードはホットプラグに対応していません。必ず パソコン本体の電源をOFFにしている状態で、接続を行ってください。 本製品をSCSIエミュレーションモードで使用する場合、以下の手順で SCSI機器、USB-SCSI変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。 接続の順番を間違えると、SCSI機器が認識されない場合がありますので ご注意ください。

まず最初にSCSI機器の準備をします。SCSI機器は最大7台まで接続することができます。

- SCSI機器のID <u>ナンバーは0~6の範囲で重複しないように設定し</u> てください。
- ・終端(パソコン本体から最も遠い位置)に接続するSCSI機器にター ミネータが内蔵されている場合は、これを「有効」に設定してくだ さい。(設定方法についてはSCSI機器のマニュアルをご参照くださ い。)SCSI機器にターミネータが内蔵されていない場合は、外付け のターミネータを接続してください。
- ・SCSI機器同士を接続するSCSIケーブルは、SCSI機器に付属のもの をご使用ください。もしSCSIケーブルが添付されていない場合は、 接続するSCSIコネクタの形状にあわせて別途ご用意ください。 ケーブル長の合計とSCSI機器の接続台数は以下の表に従いますが、 ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。 (ケーブル長にはUSB-SCSI変換ケーブルの長さを含みません。)

接続台数	ケーブル長の合計
3台以下	3m以下
4台~7台	1.5m以下

ご注意

接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限 されます。 第3章 SCSIエミュレーションモードで使用する場合

まず 最初に 接続する SCSI 機 器同十を SCSI ケーブルです べて接続しておいてくださ 云 청 い。軽く引いて抜けないこと を確認してください。 à



参考 \square

イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを内 蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してくださ 11.

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器(ター ミネータを「有効」にしていない方)のSCSIコネクタに接続します。 軽く引いて抜けないことを確認してください。



USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、Macintosh 本体の USB コ ネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続でき ません。

iMac シリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まない ように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。





以上ですべての接続は終了しました。次ページの図と比べて間違いがな いか確認してください。



タを接続します。

間違いがないことを確認したら、SCSI機器 Macintosh 本体の順に電源をONにして、システムを起動してください。

ご注意

SCSIエミュレーションモードはホットプラグに対応していません。接続 を外す際には、必ずシステムを終了してください。

3.3 接続後の作業

MO/HD ユニットを接続した場合は、ソフトウェアキット「LKT-MACBC」に添付された Macintosh 用フォーマッタ「B'sCrew」をインス トールしなければなりません。

CD-R/RW ユニットを接続した場合は、CD-R/RW ユニット付属のライ ティングソフトウェア「MacCDR」をインストールしなければなりません。

どちらの場合もそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照して、作業 を行ってください。


「iMacアップデート1.0」が必要かどうか確認したい。

「アップルメニュー」 「Apple システム・プロフィール」で「装置とボリューム」タグを選び、USBのバージョンが「1.0.1」以降であることを確認してください。これが「1.0.1」以降でない場合は、 iMac アップデート 1.0 でアップデートする必要があります。

USB-SCSI変換ケーブルで接続した

MO/HDユニットが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうかを確認してください。本製品の接続にUSBハブを使用している場合は、Macintosh本体から本製品までの接続経路のうち、ケーブルが外れている部分がないかどうか確認してください。

SCSI エミュレーションモードで使用している場合(エミュレー ションドライバをインストールしている場合) MO ユニットを認 識するためには、Macintosh用フォーマッタ「B'sCrew」をインストー ルする必要があります。

USB-SCSI変換ケーブルで接続した

CD-R/RWユニットが認識されない。

本製品を USB ネイティブモード (USB ディスクドライバ)で使用 していませんか? USBネイティブモードではMO/HDユニットし かサポートされていません。エミュレーションドライバをインス トールして、SCSI エミュレーションモードでご使用ください。(エ ミュレーションドライバをインストールすると、USBディスクドラ イバは自動的に削除されます。) CD-R/RWユニットで書き込みエラーが頻発する。

2倍速を超える速度で書き込みをしようとしていませんか? USB はSCSIよりも転送速度が遅いため、CD-R/RWユニット自体が4倍 速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使 用した接続では書き込み速度が2倍速以下に制限されます。

書き込み時に CD-R/RW ユニット以外を USB-SCSI 変換ケーブルに 接続し、それをアクセスしようとしていませんか? 特にイメージ ファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続 してはいけません。

USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、 USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して 試してみてください。

本製品を接続すると、

以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第2章/第3章 にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接 続してください。

本製品を接続すると、

以下のようなエラーメッセージが表示される。



USB-SCSI変換ケーブルを接続したUSBコネクタが、必要な電流を 供給できないことをあらわします。パソコン本体のUSBコネクタ に直接接続するか、セルフパワーのUSBハブに接続してください。 付属の専用フォーマッタを起動すると、

以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品、MO/HDユニットの接続状態を確認してください。また、電源表示ランプが点灯しているかどうかを確認してください。 USBディスクドライバがインストールされているかどうかを確認 してください。

本製品に接続された MO ユニットに MO メディアを セットしたが、MO のアイコンが表示されない。 イジェクトすることもできない。

そのMOメディアは未フォーマットか、サポートしていない形式で フォーマットされています。

付属のフォーマッタを起動して、「取り出し」と書かれたボタンを クリックすると MO メディアを取り出すことができます。

640MB対応の MOユニットを使用しているのに、 特定の 640MB MOメディアが認識されない。

そのMOメディアはスーパーフロッピー形式でフォーマットされて いませんか? 本製品に接続した MO ユニットでは、スーパーフ ロッピー形式でフォーマットされた 640MB、1.3GB MO メディア を扱うことはできません。(これは「PC Exchange」、「File Exchange」 の制限です。)

ハードウェア仕様

機種名				LUB-SC		
インターフェース				USB(Rev 1.0) アイソクロナス転送		
最大	データ転送	速度		12Mbps *1		
				USBネイティブモード	MO/HDユニット	
接続可能なSCSI機器				SCSIエミュレーションモード	MO/HDユニット CD-R/RWユニット	
000 I #維	翌の見士埣	住しお		USBネイティブモード	1台	
3631 茂	品の取入技	統百数		SCSIエミュレーションモード	7台	
入力電圧				DC5V ± 5% *2		
消費電流(最大)				500mA		
	但答吐	温	度	-10 ~50		
	休官时	保官时 相対湿度		腹	20% ~ 90%	
壞境条件 *3	使用時	温	度	10 ~ 35		
		相対湿	腹	20% ~ 80%		
ケーブル長				約1.Om	*4	
重量				150 g		

*1 理論値。 *3 ただし結露なきこと。 *2 バスパワー。 *4 コネクタ部を含む。



Windows 編

目 次

第1章 製品のご紹介43
1 .1 製品概要
1.2 使用環境 44
第2章 接続について
2.1 SCSI 機器を1台だけ接続する場合
2.2 複数の SCSI 機器を接続する場合
第3章 ドライバのインストール53
3 . 1 Windows XP の場合53
3. 2 Windows Me の場合 57
3 . 3 Windows 98 の場合 59
3 . 4 Windows 2000 の場合 63
第4章 補足事項
4 . 1 SCSI 機器別の作業 69
4.1.1 HD ユニットを接続した場合
4.1.2 MO ユニットを接続した場合
4.1.3 CD-R/RW ユニットを接続した場合
4.2 USB-SCSI 変換ケーブルを外す場合は
4.3 トラブルシューティング
ハードウェア仕様76

Logitec

第1章 製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品は、各社のDOS/Vパソコンおよび日本電気株式会社PC98-NXシ リーズ(どちらもUSBコネクタを搭載した機種)に接続できるUSB-SCSI 変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB対応のパソコン本体に最大7台までのSCSI機器を接続することが できます。拡張スロットを持たないスリムデスクトップ・パソコンなど に最適です。

USB-SCSI 変換ケーブルに内蔵された変換回路は、USB コネクタから のバスパワーで動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、 すっきりと接続することができます。



本製品を接続するUSBコネクタは+5V500mAの電源を供給できるもので なければなりません。バスパワーで動作するUSBハプには、電流量が足 りないため接続できません。

対応機種

各社DOS/V パソコン日本電気株式会社PC98-NX シリーズ

USB コネクタを持ち、下記の対応 OS が動作する機種に限定されます。



ご注意

本製品は日本電気株式会社の PC-9800 シリーズでは使用できません。

対応 OS

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional Windows Me Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows 2000 Professional

SCSI 機器

弊社から発売されている SCSI 機器のうち、D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタを持つ HD ユニット、MO ユニット、CD-R/RW ユニット については本製品との接続が確認されています。

ご注意

上記以外のSCSI機器についても、順次接続確認が行われています。最新 情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべてのSCSI機 器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器が存在する 可能性があることはご承知おきください。)

ご注意

- ・CD-R/RW ユニットで CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合、USB の転送速度が SCSI よりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・本製品をUSBハブ経由で接続しないでください。パソコン本体のUSBコネクタに直接接続してください。
 - ・書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機器を接続しないでください。また、不要なUSB機器はなるべく接続を外しておいてください。
 - ・書き込み速度は2倍速以下に制限されます。ライティングソフトウェアで2倍速を超える速度が表示される場合でも、2倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・書き込み速度が2倍速以下であっても、オンザフライ書き込み やオンザフライでのCDのバックアップはできない場合があり ます。
 - ISO9660のCD-R/RW書き込み時などに使用されるイメージ ファイル保管用のハードディスクは、USB-SCSI変換ケーブル に接続しないでください。



USB-SCSI変換ケーブルの接続は、以下のような手順で行います。接続の順番を間違えると、SCSI機器が認識されない場合がありますので、十分ご注意ください。

接続の方法は、「SCSI機器を1台だけ接続する場合」と「複数のSCSI 機器を接続する場合」に分けて説明します。

2.1 SCSI 機器を1台だけ接続する場合

まず最初に SCSI 機器の準備をします。

- ・SCSI機器を1台だけ接続する場合は、SCSI機器のIDナンバーを0 ~6の範囲で任意の番号に設定してください。通常の場合は、出荷 時設定のままでかまいません。
- ・SCSI機器を1台だけ接続する場合は、内蔵ターミネータを「有効」 に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSI コネクタ(大きい方)をSCSI機 器のSCSIコネクタに接続しま す。軽く引いて抜けないことを 確認してください。



□ 参考

イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを内蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

SCSI機器の電源コード(もしくはACアダプタ)をAC100Vのコンセントに接続し、SCSI機器の電源をONにします。

SCSI機器の電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、パソコン本体の USB コネ クタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できま せん。



Point ポイント

USB はホットプラグ機能を持っているため、この時点でパソコン本体の 電源は ON になっていても、OFF になっていてもかまいません。 ON になっていた場合(Windows のシステムが起動していた場合)は、こ の後、第3章/第4章で説明するドライバのインストール作業がすぐに開 始されます。 以上ですべての接続は終了しました。下の接続図と比較して、間違って いないことを確認してください。



ターミネータを内蔵していないSCSI機 器の場合は、ここに外付けターミネー タを接続します。

接続の確認ができたら、この後、ドライバのインストールを行います。 第3章にお進みください。第3章の内容は使用OS別に説明されています ので、ご使用のOSにあった部分をお読みください。

複数の SCSI 機器を接続する場合 2.2

まず最初にSCSI機器の準備をします。SCSI機器は最大7台まで接続す ることができます。

- ・複数のSCSI機器を接続する場合は、SCSI機器のIDナンバーを0~ 6の範囲で重複しないように設定してください。
- ・終端(パソコン本体から最も遠い位置)に接続するSCSI機器は、内 蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを 接続してください。 終端以外の位置に接続するSCSI機器は、すべてターミネータを「無 効」にしてください。
- ・複数の SCSI 機器を接続する場合、SCSI 機器同士を接続する SCSI ケーブルは、SCSI機器に付属のものをご使用ください。もし SCSI ケーブルが添付されていない場合は、接続する SCSI コネクタの形 状にあわせて別途ご用意ください。ケーブル長の合計とSCSI機器 の接続台数は以下の表に従いますが、ケーブル長はなるべく短くな るようにした方が動作が安定します。(ケーブル長にはUSB-SCSI 変換ケーブルの長さを含みません。)

接続台数	ケーブル長の合計	
3 台以下	3m以下	
4台~7台	1.5m以下	



接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限 されます。

まず最初に接続する SCSI機 器同士を SCSI ケーブルです べて接続しておいてくださ い。軽く引いて抜けないこと を確認してください。





ご注意

- ・イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを 内蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してく ださい。
- ・オートターミネーション機能を持つ SCSI 機器の場合は、必ず SCSI IN コネクタが USB-SCSI 変換ケーブルに近い方、 SCSI OUT コネクタが 終端に近い方になるように接続してください。逆にすると、内蔵ターミ ネータが正常に制御されません。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器(ター ミネータを「有効」にしていない方)のSCSIコネクタに接続します。 軽く引いて抜けないことを確認してください。



ここで、すべての SCSI 機器の電源コード(もしくは AC アダプタ)を AC100V のコンセントに接続し、電源を ON にしてください。 SCSI 機器の電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ラ ンプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、パソコン本体のUSBコネ クタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できま せん。



Point <u>ポイント</u>

USB はホットプラグ機能を持っているため、この時点でパソコン本体の 電源は ON になっていても、OFF になっていてもかまいません。 ON になっていた場合(Windowsのシステムが起動していた場合)は、こ の後、第3章で説明するドライバのインストール作業がすぐに開始されま す。





ターミネータを内蔵していないSCSI機 器の場合は、ここに外付けターミネー タを接続します。

接続の確認ができたら、この後、ドライバのインストールを行いますの で第3章に進んでください。第3章の内容は使用OS別に説明されていま すので、ご使用のOSにあった部分をお読みください。

第3章 ドライバのインストール

3.1 Windows[®] XP の場合

接続が完了したら、次に USB-SCSI 変換ケーブルのドライバをインス トールします。パソコン本体の電源が OFF になっている状態で接続を 行った場合は、パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動後、管理 者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」等)としてログ オンしてください。(パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続 を行った場合は、接続の直後にこの作業が開始されます。)

起動中にUSB-SCSI変換ケーブルがプラグ&プレイで認識されます。ここから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

新しいハードウェアの検出ウィザー	F
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
	このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: USB-SCSI ADAPTER
「ソフトウェアを自動 的に・・・」のラジオ	ハードウェアに付着のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。
ボタンを「ON()」	インストール方法を遅んでください。
にして下さい。	 ● シフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(型) ● 一覧または特定の場所からインストールする(基準細)(S)
	続行するには、[次へ]をクリックしてください。

本製品付属の「Logitec Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にドライバに検索が開始されます。

Point ポイント

しばらくしてもドライバの検索が開始されない場合は「次へ」をクリック してください。 下のウィンドウが表示されます。

場所が「d:¥drivers¥lubsc¥<u>win2000</u>¥lubsc.inf」と表示されている方のド ライバ選択して、「次へ」をクリックしてください。

	新しいハート	ウェアの検出	ウィザード				-
	下の一覧	ŀらハードウェア	に最適なソフトウ	ェアを選んでくださ(,ìo		
	ŝ	Logitec ₽	LUB-SC				
	説	玥	バージョン	製造元	場所		
		Logitec LUB-	SC 1.21.4.0	Logitec Corp.	d:¥drivers¥lubs	c¥win98¥lubsc.inf	
		Logitec LUB-	-SC 1.21.4.0	Logitec Corp.	d:¥drivers¥lubs	c¥win2000¥lubsc.inf	
1.この	ドライノ	(を	/				
選択し	って						
	⚠	このドライバ ドライバの署の	はデジタル署名。 名が重要な理由	きれていません。			
2. 次へ	をクリ	ック―			〈 東る(D)		キャンセル

Point ポイント

「場所」に「d:¥drivers¥lubsc¥**win2000**¥lubsc.inf」と表示されるドライバ が正しいものです。「d:¥drivers¥lubsc¥<u>win98</u>¥ lubsc.inf」と表示される ドライバは Windows Me, 98 用です。

ここで、「d:」は「LogitecWare」をセットした CD-ROM のドライブ名で す。ドライプ名は環境により異なります。 手順 で表示されるドライブ名 も同様です。

下のウィンドウが表示されます。



参考

本製品用のドライバは出荷時期の問題から「Windows ロゴ テスト」を 実施しておりませんが、弊社では本ドライバがWindows XP上で動作す ることを十分に確認して提供しております。そのままインストールしてご 使用ください。手順 で示されるメッセージも同様です。

必要なファイルがシステムに転送されて、終了すると以下のウィンドウ が表示されます。



再度「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。



下のウィンドウが表示されます。

場所が「d:¥drivers¥lubsc¥<u>win2000</u>¥lubscex.inf」と表示されている方の ドライバ選択して、「次へ」をクリックしてください。



下のウィンドウが表示されます。



必要なファイルがシステムに転送されて、終了すると以下のウィンドウ が表示されます。

新しいハードウェアの検出ウィザー	-8
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました。
	Cogritec LUB-SC USB-SCSJ Adapter
「完了」をクリック	院で]をりりゅりするとウィザードを開します。 < 戻る(g) 売了 、 キャンセル

以上でドライバのインストールは終了です。次回からはUSB-SCSI変換 ケーブルを接続しただけでUSB-SCSI変換ケーブルが使用可能な状態にな ります。

3.2 Windows[®] Me の場合

接続が完了したら、次にUSB-SCSI 変換ケーブルのドライバをインス トールします。パソコン本体の電源がOFF になっている状態で接続を 行った場合は、パソコン本体の電源をONにしてシステムを起動してくだ さい。(パソコン本体の電源がON になっている状態で接続を行った場合 は、接続の直後にこの作業が開始されます。)

起動中にUSB-SCSI変換ケーブルがプラグ&プレイで認識されます。ここから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。「適切なドラ イバを自動的に検索する(推奨)」と書かれたラジオボタンがON() になっていることを確認して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM をCD-ROMドライブにセットしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	۲
	次の新ししいトードウェアが見つかりました: USB-SCSI ADAPTER ハードウェアをサポートしているソフトウェアを自動的に検索して、インス トールできます。ハードウェアに付属のインストールメディアがある場合 は、そのメディアを挿入して、したへ」をクリックしてください。
	オプションを選択してください。 ② 適切なドライバを自動的に検索する (推奨)(A) ③ ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)(S)
	(家) (ホヘン) キャンセル

Point ポイント

ここでCD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にドライ バの検索が開始されますので、 に進んでください。しばらく待っても何 も起こらない場合は、「次へ」と書かれたボタンをクリックしてください。 検索結果が表示されます。ドライバは2種類表示されますので、「場所」 に「Q:¥DRIVERS¥LUBSC¥<u>WIN98</u>¥LUBSC.INF」と表示されるドライバ を1回クリックして選択し、OKボタンをクリックしてください。

ほかのドライバの選択		X
ハードウェア用のドライバが	複数見つかりました。言語およびデバイスが一致するト	ドライバを選択してください。
	li	<u> </u>
ドライバの説明	場所	ドライバの日付
Logitec LUB-SC	Q:¥DRIVERS¥LUBSC¥WIN2000¥LUBSC.INF	6-9-2000
	Q:¥DRIVERS¥LUBSC¥WIN98¥LUBSC.INF	6-9-2000
<u> </u>		
	OK	キャンセル

Point ポイント

「場所」に「Q:¥DRIVERS¥LUBSC¥<u>WIN98</u>¥LUBSC.INF」と表示される ドライバが正しいものです。「Q:¥DRIVERS¥LUBSC¥<u>WIN2000</u>¥ LUBSC.INF」と表示されるドライバはWindows XP, 2000用です。

指定したドライバがインストールされます。作業が完了すると、以下の ウィンドウが表示されますので、「完了」をクリックして、CD-ROMを ドライブから取り出してください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	r
	Elogitec LUB-SC
	新しいハードウェア デバイスに必要な選択したソフトウェアがインストー ルされました。

以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストー ルしておけば、次回からは USB-SCSI 変換ケーブルを接続しただけで USB-SCSI 変換ケーブルが使用可能な状態になります。

3.3 Windows[®] 98 の場合

接続が完了したら、次にUSB-SCSI変換ケーブルのドライバをインス トールします。パソコン本体の電源がOFFになっている状態で接続を 行った場合は、パソコン本体の電源をONにしてシステムを起動してくだ さい。(パソコン本体の電源がONになっている状態で接続を行った場合 は、接続の直後にこの作業が開始されます。)

起動中にUSB-SCSI変換ケーブルがプラグ&プレイで認識されます。ここから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示され、「次の新しいドライバを検索しています:USB-SCSI ADAPTER」と表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	K
	次の新しいドライバを検索しています: USB-SCSI ADAPTER デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	【 《 房務/個) 【 法へ > 】】 【 キャンセル

「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンが「ON()」の状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	х,
	検索方法を選択してください。
	❷ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)
	②特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インス トールするドライバを選択する
<u></u>	
	(く戻る(B) 次へ > 「キャンセル」

「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の 選択した場所から検索されます。」と表示されますので、ここで本製品 付属の「LogitecWare」CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。 (まだ「次へ」ボタンはクリックしないでください。)

新しいハードウェアの追加ウィザート	2
	新しいドライバは、ハード ドライブのドライバ データベースと、次の選択 した場所から検索されます。検索を開始するには、しかく」をクリックし てんだい。 「」 フロッピー ディスク ドライブ(E) 「」 CD-ROM ドライブ(C) 「」 Microsoft Windows Update(M) 「」 Microsoft Windows Update(M) 「」 検索場所の指定(L): <u>D*DRIVERS¥LUBSC¥WIN98</u> 「「 参照(R)
	〈 戻る(B) / 次へ 〉 キャンセル

第3章 ドライバのインストール

前ページ下のウィンドウで、「検索場所の指定」のチェックボックスの みがチェックされている状態にしてください。(それ以外のチェック ボックスは、チェックを外します。)

さらに「検索場所の指定」のテキストボックスにドライバが保存されて いるディレクトリ名を以下のように入力して、「次へ」ボタンをクリッ クしてください。

d:¥DRIVERS¥LUBSC¥WIN98

ここでドライブ名「d:」には、「LogitecWare」CD-ROMを セットしたCD-ROMドライブのドライブ名を指定してく ださい。

USB-SCSI変換ケーブルのモデル名が表示され、「次のデバイス用のド ライバファイルを検索します。」と表示されますので、「次へ」ボタンを クリックしてください。

デバイス ドライバの更新ウィザード	
	次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。:
	Logitec LUB-SC
	このデバイスに最適なドライバは既にインストールされています。別のド ライバをインストールするには、「戻る」をクリックしてください。 D次へ」を クリックするとこのドライバを使用します。
	ドライバのある場所:
	C#WINDOWS¥INF¥OTHER¥LOGITE [®] 2.INF
	(戻る(B) (ホハン) キャンセル

必要なファイルが転送されます。転送が終了すると、「新しいハード ウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と 表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	~
	Logitec LUB-SC
	新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされまし た。
	;
	く 戻る 個

「システム設定の変更」のウィンドウが表示され、「今すぐ再起動しま すか?」と表示される場合があります。これが表示されたら、「Logi tecWare」CD-ROMを取り出してから、「はい」ボタンをクリックして Windows98を再起動してください。

システム設定の変更	
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?

以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストー ルしておけば、次回からは USB-SCSI 変換ケーブルを接続しただけで USB-SCSI 変換ケーブルが使用可能な状態になります。

3.4 Windows[®] 2000 の場合

接続が完了したら、次にUSB-SCSI変換ケーブルのドライバをインス トールします。パソコン本体の電源がOFFになっている状態で接続を 行った場合は、パソコン本体の電源をONにしてシステムを起動してくだ さい。(パソコン本体の電源がONになっている状態で接続を行った場合 は、接続の直後にこの作業が開始されます。)

起動中にUSB-SCSI変換ケーブルがプラグ&プレイで認識されます。ここから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「デバイスに 最適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンが「ON()」の 状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されたら、「場所を指定」のチェックボックス だけにチェックマークを付けた状態で「次へ」ボタンをクリックしてく ださい。

新レハハードウェアの検出ウィザード ドライバ ファイルの特定 ドライバ ファイルをとこで検索しますか?
はのハードウエア デバイスのドライバ ファイルの検索 USB-SOSI ADAPTER このコンピュータ上のドライバ データベースおよび指定の検索場所から通切なドライバを検索します。 検索を開始するには、(水へ) を列ックして(ださい。フロッピーディスクまたは CD-ROM ドライブで検索して (る場合は、フロッピーディスクまた300 を導入してから Dたへ) をグリックして(ださい。 検索場所のオブシュン ■ ロワーディスク ドライブ(<u>D</u>) ■ CD-ROM ドライブ(<u>D</u>) ■ CD-ROM ドライブ(<u>D</u>) ■ Microsoft Windows Update (<u>M</u>)
(反ふ(1)) 次へ(10) トレー キャンセル

以下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

新しいハード	ウェアの検出ウィザード	X
Ð	製造元が配在するインストールディスクを指定したドライブに挿入 して、TOK」をクリックしてください。	0K (#+7)1211
	製造元のファイルのコピー元(Q): QxHORIVERSVLUBSCWWIN2000	参照(B)

さらに「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスにドライバ が保存されているディレクトリ名を以下のように入力して、「次へ」ボ タンをクリックしてください。

d:¥DRIVERS¥LUBSC¥WIN2000

ここでドライブ名「d:」には、「LogitecWare」CD-ROMを セットした CD-ROM ドライブのドライブ名を指定してく ださい。 以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックして ください。



必要なファイルが転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが 表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



続いて本製品のストレージクラスデバイスが認識されます。以下のウィ ンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「デバイスに最 適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンが「ON()」の状 態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード
ハードウェア デバス ドライバロインストール デバストドライバス ハードウェア デバイスがオペレーティング システムで正しく動作するように設定する ソフドウェア プログラムです。
次のデバイスをインストールします
USB Mass Storage
デバイスのドライバはハードウェア デバイスを実行するソフトウェア プログラムです。新しいデバイスにはドラ イバが必要です。 ドライバ ファイルの場所を指定してインストールを完了するには じたへ」をグリックしてくだ ざい。
検索方法を選択してください。
◎ デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(6)
○このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する(D)
< 戻る(B) 次へ(Q) > 入 キャンセル

以下のウィンドウが表示されたら、「場所を指定」のチェックボックス だけにチェックマークを付けた状態で「次へ」ボタンをクリックしてく ださい。

新しなハードウェアの検出ウィサード ドライバ ファイルの特定 ドライバ ファイルをどこで検索しますか?
はのハードウェア デバイスのドライバ ファイルの検索 USB Mass Storage このエンピュータ上のドライバ データベースおよび指定の検索場所から通切なドライバを検索します。
検索を開始するには、じかく】をクリックしてください。フロッピーディスクまたは CD-ROM ドライブで検索して いる場合は、フロッピーディスクなたは CD を挿入してから じたへ」をクリックしてください。 検索場所のガブション・ □ [フロッピーディスク ドライブ(0) □ CD-ROM ドライブ(2) 図 場所を指定(2) ■ [Microsoft Windows Update(M)
(原3個) 次へ(10) (キャンセル

以下のウィンドウが表示されたら、と同じ内容が「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスに表示されていることを確認して、 OKボタンをクリックしてください。

新しいハード	ウェアの検出ウィザード	X
æ	製造元が配布するインストールディスクを指定したドライブに挿入 して、「OK」をクリックしてください。	OK キャンセル
	製造元のファイルのコピー元 (Q): Q#DRIVERSWLUBSCWWIN2000	参照(<u>B</u>)

以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックして ください。



以下のウィンドウが表示されたら、「はい」 ボタンをクリックしてください。



参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得しておりません ので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分な テストを行い、Windows 2000上で正常に動作することを確認して提供し ています。 必要なファイルが転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが 表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

新しんいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	Logitec USB-SCSI Mass Storage Controller
	このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。
Ξđ)ウィザードを閉じるには [完了] をクリックしてください。

以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストールしておけば、次回からは USB-SCSI 変換ケーブルを接続しただけで USB-SCSI 変換ケーブルが使用可能な状態になります。



SCSI 機器別の作業 4.1

ここでは USB-SCSI 変換ケーブルに接続した SCSI 機器の種類別に、ド ライバのインストール後の作業を説明します。

4.1.1 HD ユニットを接続した場合

HD ユニットを接続した場合は、新規接続した HD ユニットのフォー マットを行わなければなりません。

Windows Me, 98の場合

付属の「LogitecWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」 をインストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でフォー マットを行ってください。

Windows XP, 2000の場合

管理者権限を持つユーザーとしてログオンして、Windows 標準 のユーティリティ「ディスクの管理」でフォーマットを行ってく ださい。

「ディスクの管理」を表示するには、「マイコンピュータ」を右 クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。 「コンピュータの管理」のウィンドウが表示されたら、ツリーか ら「記憶域」の下の「ディスクの管理」を選択してください。

4.1.2 MOユニットを接続した場合

MOユニットを接続した場合は、本製品のドライバがインストールされ ると、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが追加さ れます。

MOユニットにフォーマットされたMOメディアをセットして、リムー バブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、MOメディアにアク セスすることができます。MOメディアのフォーマットは付属の「Logitec Ware」CD-ROMに保存されたユーティリティで行います。

Windows Me, 98 の場合

「LogitecWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をイン ストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でMOメディア のフォーマットを行ってください。

Windows XP, 2000の場合

「LogitecWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をイン ストールし、その中の「MOメディアフォーマッタ」でMOメディ アのフォーマットを行ってください。

4.1.3 CD-R/RW ユニットを接続した場合

CD-R/RW ユニットを接続した場合、本製品のドライバがインストール されると、「マイコンピュータ」に CD-ROM のアイコンが登録されます。 CD-ROM の読み出しを行いたい場合は、CD-R/RW ユニットに CD-ROM をセットして、このアイコンをダブルクリックしてください。

CD-ROMの読み出しができることを確認したら、CD-R/RWユニット付属のライティングソフトウェアをインストールしてください。手順についてはライティングソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

4.2 USB-SCSI 変換ケーブルを外す場合は

USB-SCSI変換ケーブルはホットプラグに対応していますが、いつでも 取り外しが可能なわけではありません。以下のような場合にUSB-SCSI変 換ケーブルを取り外すと、データが失われたり、システムがハングアップ する危険性があります。

- ・USB-SCSI 変換ケーブルで接続した SCSI 機器がアクセス中の場合 (アクセス表示ランプが点灯中の場合)。
- ・アプリケーションなどから、USB-SCSI 変換ケーブルで接続した SCSI 機器に保存されたファイルを開いている場合。
- ・USB-SCSI変換ケーブルでCD-R/RWユニットを接続している環境 で、ライティングソフトウェアを起動している場合。

また、MOユニットやCD-R/RWユニットを接続した場合は、USB-SCSI 変換ケーブルを取り外す前に、メディアを取り出しておいてください。

以上のような点に問題がないことを確認したら、以下の手順でUSB-SCSI 変換ケーブルを取り外してください。

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを取り外します。

各 SCSI 機器の電源を OFF にします。

Windows Me, 98 の場合

必要に応じて、USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ、および各 SCSI機器を接続しているSCSIケーブルを外してください。
Windows XP, 2000の場合

本製品を接続するとタスクバーのシステムトレイに表示される以下 のアイコンをクリックし、表示されるメニューから、 Windows XP では「Logitec USB-SCSI Adapter - ドライブ(E:)を安 全に取り外します」を選択します。

この項目を選択します



Windows 2000 では「Logitec USB-SCSI Mass Storage Controller - ド ライブ (d:)を停止します」を選択します。

この項目を選択します



ポイント Point

ここで「E:」「d:」は本製品に接続された SCSI 機器のドライブ名ですの で、環境によって異なります。また、表示されない場合もあります。

Windows XPでは本製品を取り外しても良いというメッセージが表示されたらUSB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを取り外してください。(このメッセージは一定時間表示されたら自動的に消えますので特に操作をする必要はありません。)

Windows 2000 では以下のウィンドウが表示されたら、OK ボタン をクリックし、USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを取り外し ます。



各 SCSI 機器の電源を OFF にします。

必要に応じて、USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ、および各 SCSI機器を接続しているSCSIケーブルを外してください。

4.3 トラブルシューティング

USB-SCSI変換ケーブルを接続しても、

ドライバのインストールが開始されない。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタに接触不良などがないかどうか確認してください。

接続に USB ハブを使用している場合は、パソコン本体の USB コネ クタに USB-SCSI 変換ケーブルを直結して試してみてください。こ れで問題ない場合は、USB ハブに原因があります。その USB ハブ はバスパワー(+5V 500mA)を供給できるタイプですか? バスパ ワーを供給できない USB ハブは使用できません。

一部のパソコン本体では、USBポートから規定通りにバスパワーが 供給できない場合があります。このような場合には、USBポートと 本製品の間にバスパワー供給可能なUSB ハブを接続すると正常に 動作することがあります。

ご使用の OS が Windows Me, 98, 2000 であることを確認してくだ さい。

BIOS セットアップで USB が「Disabled」(無効)になっていないか どうか確認してください。

一般的に USB が使用可能な状態にあるかどうかを確認したい場合は、「デバイスマネージャ」を起動してください。(Windows Me,98の場合は「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。Windows XP,2000の場合は「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。)

接続されている機器の一覧表が表示されたら、「ユニバーサルシリ アルバスコントローラ」と書かれた部分をダブルクリックして開 き、そこにコントローラの名前と「USBルートハブ」が登録されて いるかどうかを確認してください。

この2つが正常に登録されていれば、USBは使用可能な状態にあり ます。この2つのどちらかがない場合、「!」マークや「×」マー クがついている場合、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコント ローラ」自体がない場合は、パソコン本体やOSの問題でUSBが使 用できない状態にあります。 Windows XP でドライバのインストール時、

「Windows ロゴテスト」から先に進めない。

Windows XPの「ドライパ署名オプション」が初期状態から書きか えられていると、このような現象が発生します。この設定は「コン トロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「システ ム」 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで変更で きますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合 は、システム管理者にご相談ください。

Windows 2000 でドライバのインストール時、

「Microsoftデジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000 の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書き かえられていると、このような現象が発生します。この設定は「コ ントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「ド ライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によって この設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した

SCSI機器が認識されない。

SCSI機器の電源がONになっていることを確認してください。 ケーブル(USB-SCSI変換ケーブル、SCSIケーブル)の接続に、接 触不良などがないかどうかを確認してください。

IDナンバーは重複していませんか? 併用しているSCSI機器間で IDナンバーを確認してください。また、本製品はIDナンバー「7」 を使用しています。SCSI機器は「0」~「6」の範囲で設定して ください。

ターミネータは正しく設定 / 接続されていますか?

その SCSI 機器はハードディスクではないですか? ハードディス クはフォーマットが終了するまで、「マイコンピュータ」に登録さ れません。

複数のSCSI機器を接続している場合、認識されないSCSI機器だけ を接続して試してみてください。これで正常に認識される場合、 SCSIケーブルのケープル長が長すぎるなどの原因が考えられます。 また、これでも正常に認識されない場合は、そのSCSI機器自体の 故障が考えられます。

CD-R/RWユニットで書き込みエラーが頻発する。

2倍速を超える速度で書き込みをしようとしていませんか? USB はSCSIよりも転送速度が遅いため、CD-R/RWユニット自体が4倍 速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使 用した接続では書き込み速度が2倍速以下に制限されます。

書き込み時に CD-R/RW ユニット以外を USB-SCSI 変換ケーブルに 接続し、それをアクセスしようとしていませんか? 特にイメージ ファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続 してはいけません。

USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、 USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して 試してみてください。

ときどきエラーが発生するなど、

SCSI機器の動作が安定しない。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか? 複数のSCSI機器を接続している場合、SCSIケーブル(SCSI機器同 士を接続するケーブル)のケーブル長は長すぎませんか? また、 インピーダンスの低いケーブルを使用していませんか? 可能であ ればSCSIケーブルを交換して試してみてください。 複数のSCSI機器を接続している場合、接続の順番を変更してみる と安定する場合もあります。

その他

SCSI機器のマニュアルには、その機種に特有のトラブルシュー ティングが掲載されている場合もありますので、そちらもご参照く ださい。

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に 関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お 問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロー ド可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス:http://www.logitec.co.jp/

4

ハードウェア仕様

機種名			LUB-SC
インターフェース			USB(Rev 1.0) アイソクロナス転送
最大データ転送速度			12Mbps *1
接続可能なSCSI機器			MOユニット、ハードディスクユニット CD-R/RWユニット
SCSI機器の最大接続台数			7台
入力電圧			DC5V ± 5% *2
消費電流(最大)			500mA
環境条件 *3	保管時	温 度	-10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
	使用時	温 度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
ケーブル長			約1.0m ^{*4}
重量			150 g

*1 理論値。 *3 ただし結露なきこと。 *2 バスパワー。 *4 コネクタ部を含む。

LUB-SC V05



